

## 指定管理者評価表

様式1

## 1 基本情報

<b>(1) 公の施設の名称</b>	
堺市立フォレストガーデン	
<b>(2) 施設の設置目的</b>	
市民に、身近な自然に親しみ、農林業体験を通して健康で活動的なレクリエーションを行う場を提供するとともに、自然緑地の保全と活用を図り、農業の振興に資するために設置	
<b>(3) 所管部局</b>	
産業振興局 農政部 農水産課	
<b>(4) 指定管理者名</b>	
特定非営利活動法人グリーンカムムロ	
<b>(5) 指定期間</b>	
平成29年4月1日から平成34年3月31日まで（5年間）	
<b>(6) 主な事業</b>	
施設の管理運営に関する業務、施設等の維持管理に関する業務、提案（自主）事業に関すること他	
<b>(7) 有料施設の有無</b>	
有（徴収委託）	
<b>(8) 公募・非公募の別</b>	
公募	
<b>(9) 主な利用者</b>	<b>(10) 市内における受益対象者数</b>
堺市民、菜園利用者	不特定多数
<b>(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標</b>	
無	

## 2 管理運営状況

## (1) 特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

- ・市民菜園部分を含め施設の維持管理に細心の注意を払い、職員についても地元農家の方を中心に菜園利用者や来園者に配慮し、効率的な配置を行っている。
- ・苦情対応については、地域との日頃の交流を活かして、発生の都度、迅速な対応が行われており、必要に応じて市と協議している。
- ・フォレストガーデンフェスタを開催するなど、利用者や地域住民との交流を推進しており、施設と地域の融和をはかっている。
- ・台風、大雨災害の被害発生時に迅速・適切に対応した。

## (2) 利用者サービス

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指定管理者名	特定非営利活動法人グリーンカムムロ	特定非営利活動法人グリーンカムムロ	特定非営利活動法人グリーンカムムロ	特定非営利活動法人グリーンカムムロ	特定非営利活動法人グリーンカムムロ
ア 利用者数 (人)	279人 5団体	279人 5団体	279人 5団体	269人 5団体	/
イ 稼働率 (%)	100	100	100	98	
ウ 利用者満足度 (%)	81	87	87	85	

「利用者サービス」における市による状況分析  
市民菜園の利用については利用者の高齢化や平成27年度募集時(平成28年度の利用者)からの市民菜園使用料の値上げ影響により、利用率が開園以来初めて100%を割り込むことになった。

## (3) 収支状況(単位:円)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予算)
ア 収入	指定管理料	17,486,000	17,486,000	17,486,000	17,500,000	17,500,000
	利用料金	0	0	0	0	0
	負担金	0	0	0	0	0
	その他収入	262,553	224,097	220,989	8	0
合 計		17,748,553	17,710,097	17,706,989	17,500,008	17,500,000
イ 支出	人件費	13,293,660	13,156,050	13,045,323	12,834,633	12,590,000
	委託料 ( )内は総支出額に占める委託料の割合	339,660 (1.9%)	339,660 (1.9%)	183,600 (1.0%)	210,600 (1.2%)	200,000 (1.1%)
	その他経費	4,023,517	4,067,618	4,394,504	4,392,210	4,710,000
合 計		17,656,837	17,563,328	17,623,427	17,437,443	17,500,000
利用者一人当たりの支出額		63,286	62,951	63,166	63,640	—
ウ 収支差額		91,716	146,769	83,562	62,565	0
エ 市への納付金の額		—	—	—	—	—
オ 徴収委託の場合の徴収額		3,788,000	4,380,000	3,765,000	4,276,250	4,575,000
「収支状況」における市による状況分析		収入源は指定管理料のみであるが、その範囲内で管理運営経費の削減を図ることにより対応している。				

## 3 目標管理、評価等

## (1)適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	事故発生件数	(設定理由) 利用者が安全に施設を利用することができたと判断できるため
	目標	0件	(設定理由) 同上
	実績	0件	(分析) 日常の施設点検により危険箇所の早期発見に努め、修繕等の対応を施すことにより、利用者の安全に配慮した維持管理を行った。 ※目標未達成時は詳細な原因分析
<p>事故発生件数(指定管理者事業報告書より)</p> <p>平成18年度 0件 平成19年度 1件 奥谷ゾーン駐車場で運転を誤った車が菜園に転落</p> <p>平成20年度 0件 平成21年度 0件</p> <p>平成22年度 0件 平成23年度 0件</p> <p>平成24年度 0件 平成25年度 0件</p> <p>平成26年度 0件 平成27年度 1件 わんぱく広場の遊具に一部の不具合(ボルトの脱落)があり、利用者が足首を捻挫</p> <p>平成28年度 0件 平成29年度 0件</p>			

平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	木製遊具の保守点検やセアカゴケグモの定期的な駆除等、市民が安全に利用できるよう注意を払いながら維持管理が行われている。
---------------------------------------	---

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	菜園利用者から一部マナーの悪い利用者がいるとの苦情を受けたが、ルール遵守を掲示板や口頭で注意するほか、区画の位置を工夫することにより、一定の改善が見られた。今後も菜園利用者に対して、利用マナー向上の啓発を行う。
-----------------------	---

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価
	評価	B	
具体的な理由	施設点検、園内清掃及び除草等については、年間計画以上の回数を実施することにより、園内施設の不備や自然環境の問題点を明らかにすることができた。 遊具については、専門業者による点検に加えて日々の目視、隔月の班長グループの触診で点検頻度を高めて安全の確保に努めた		地元農家の方を中心として適材適所に配置するなど、菜園利用者、来園者に配慮した人員配置が適正に行われている。 遊具については、点検により事故等も発生せず、安全確保はできている。 菜園における一部のマナーの悪い利用者に対しては、口頭で注意し、改善された面はあるものの引き続き啓発を続けている。
対応策等	月例で業務責任者と7名の正副班長が菜園を含む園内を巡回し、施設の実情と問題の把握に努め、可能なものについては対策を講じてきた。 台風の豪雨による水仙の谷の崩落で水仙の手当ては現在不可能となっている。 事故を未然に防ぐため、遊具を含む木造施設の危険箇所の補修と撤去を含む対策を講じた。		事故発生件数0件を維持できるようこれまでよりさらに点検の頻度を高めることにより安全確保を徹底するよう指示した。

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	自主事業の開催回数	(設定理由) 施設設置の趣旨に沿った事業を実施することで市民が自然や地域農業と親しむ機会を提供することができるため
	目標	2回以上	(設定理由) 指定管理業務に支障のきたすことのない回数
	実績	フォレストガーデンフェスタ1回 肥培耕耘1回	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 フォレストガーデンフェスタでは約300名の来園者があり、地域周辺住民とのふれあい交流が図れた。

自主事業開催回数(指定管理者事業報告書より)

平成18年度	フェスタ1回	肥培耕耘業務1回	平成19年度	フェスタ1回	肥培耕耘業務1回
平成20年度	フェスタ1回	肥培耕耘業務1回	平成21年度	フェスタ1回	肥培耕耘業務1回
平成22年度	フェスタ1回	肥培耕耘業務1回	平成23年度	フェスタ1回	肥培耕耘業務1回
平成24年度	フェスタ1回	肥培耕耘業務1回	平成25年度	フェスタ1回	肥培耕耘業務1回
平成26年度	フェスタ1回	肥培耕耘業務1回	平成27年度	フェスタ1回	肥培耕耘業務1回
平成28年度	フェスタ1回	肥培耕耘業務1回	平成29年度	フェスタ1回	肥培耕耘業務1回

利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項

フォレストガーデンを市民に紹介し、地域により開かれた施設とするため、フォレストガーデンマップ(森の部分のハイキングマップ)の配布を行うなど利用者サービス向上に向けた取り組みが行われた。

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応

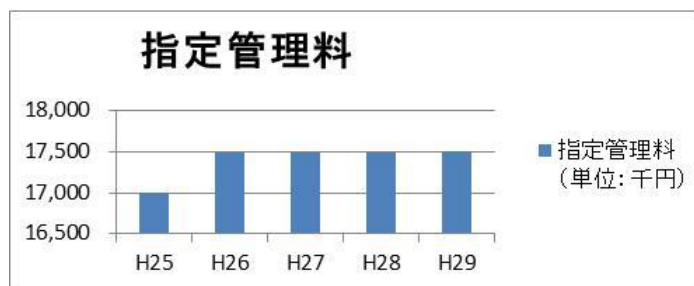
菜園利用期間終了者へのアンケート調査や、施設内に利用者を対象とした連絡箱を設置するとともに施設巡回時に利用者との会話に努めるなど、そのつど意見や要望を把握し、即座に対応できるものは対応し、検討の必要なものは関係機関と調整のうえ、改善に努めている。

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	B	評価	B
具体的な理由	菜園利用者が菜園を有効に活用して豊かな収穫を得るために菜園の整備を行うことがサービスの基本だと考えて日常の業務に取り組んだ。「たより」で栽培指導と指定管理者の意見交流を図った。 また、里山や広場の整備フェスタの開催はフォレストガーデンと農作物を介した市民へのサービスと考え取り組んだ。	フォレストガーデンフェスタにおいて地元産の新鮮野菜、花苗、肥料等の販売を行ったことは、周辺地域住民との交流を深めるうえで、大変有意義な事業であると評価する。 また、障害者が使用する園芸福祉区画の利用者へは思いやりのある対応を心掛けており、利用者本位のサービスに努めている。		
対応策等	トラクターや耕うん機による耕しと従業員の長年の経験に裏付けられた栽培指導を臨機応変に行い、今年度も菜園利用者に喜ばれた。 広場、遊具、小径(こみち)は市民の家族連れのお憩いの場として活用された。	指導員自らが積極的に利用者とのコミュニケーションを取りながら、そのつど意見や要望を把握し、園芸指導のなかで改善に努めていることは評価できる。 指定管理者の提案による小径の設置工事により、全園が小径でつながったことにより、一般の利用者にも好評を得ることができた。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	フォレストガーデン指定管理料	(設定理由) 収支の適正化をはかるため
	目標	18,000千円以下	(設定理由) 指定管理者の提案による
	実績	17,500千円	(分析) 効率的な人員配置を行うとともに、施設の補修などは直営で実施し、経費の削減に努めた。 ※目標未達成時は詳細な原因分析



収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	特になし
------------------------------------	------

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	特になし
-----------------------	------

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	B	B	B
	具体的な理由	指定管理料を有効活用することを基本とした。 自動販売機による収益を有効に利用し自主事業を進めた。	収支状況は、概ね当初予算通りに執行されている。	
対応策等	会計担当を含む事務業務担当者が、月例で公認会計士から「合計残高試算表」及び「2期3期比較貸借対照表」の説明を受け、月々の収支状況を正確に把握し、指定管理料を有効に活用する努力を続けた。	収入額が定額の指定管理料に限られているにも関わらず職員が有する知識や経験を活用して経費削減を図ることで、安定した経営が行われた。 また、公認会計士の指導のもとで、現金出納簿や経費の領収書等の経理処理が適正に行われた。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの